

きぼうの虹

KIBO NO NIJI

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218

主な記事紹介

二面	Peace Now! OKINAWA 2015報告
五面	学生の読書推進をビルトイン「リーディングリスト運動」をこころの健康を考える ㊦㊧㊨㊩
六面	植物園に行こう 第4回
七面	

北海道大学文学部1年 西川 達
 北海道大学大学院 教育学研究院 渡邊 誠
 北方生物園フィールド 加藤 克
 科学センター植物園



留学生サポート・デスク 教職員写真同好会 中谷慎志

国際本部1階にある留学生サポート・デスクは、北大が誇る先輩留学生によるピア・サポートで、一年間の利用件数は3,500件にのぼります。英語、中国語をはじめ、スタッフの話せる言語は様々です。窓口での相談以外にも、茶話会やランゲージコーナーの運営、ポスターによるキャンペーンも行っています。行って楽しいイベント情報も集めていますのでお気軽にお立ち寄りください。日本語の書類が分からない、といった相談にも親切に対応します。電話での相談も受け付けておりますので、是非ご利用ください。011-706-8071

皆さんは朝ごはんを食べてから授業に行っていますか？

脳に疲れが溜まっていけない朝の時間帯に活動すると、深夜に比べてその能率は格段に高まるといわれています。もし私達が朝に「ものを考える能率」を10%でも増せられれば、在学4年間に約半年分もの新しい経験時間を得ることが出来ます。

一方、大学生協の平成25年度全国調査によると、大学院生の平均睡眠時間は6・7時間、就寝時間の91%は23〜26時で起床時間は6〜9時が88%を占めていることがわかりました。大学生の朝型生活を妨げる、厳しい学園生活の実態がここにはあると推察されます。

しかしながらこの調査では、30%近くの仲間が外食やインスタント食品に頼り、食事時間が入学以降かなり無茶苦茶になっていること、食と健康が気になっているのにどう対応して暮らせば良いかわからない状況も、同時に浮き彫りになりました。

睡眠時間を確保するだけで精一杯になりがちですが、脳は昼で一番エネルギーを消耗するところで、このような厳しい大学生活を少しでも改善するには、「朝ごはんを摂ること」が一日のうちで尤も重要な作業になるのではないで

村体験などがいわゆる総合の時間にあつたことを思い出せますか？

これは、平成17年に制定された食育基本法と翌年の第1次食育推進基本計画によって、小中学校での食育授業や消費者と生産者の交流などが「義務化」されたことにより、この1次計画は主に消費者側への働きかけを中心とした食育教育でしたが、その後の2

Opinion!

**食は全ての基盤
— 大学生生活と食育 —**



大学院水産科学研究院准教授
山下 成治

次計画では、(1)生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進、(2)生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進、および(3)家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進を重点課題に掲げ、食育実践活動の場を学校内から食材の提供者である小売業や流通業へ広めた取り組みに昇華しています。

この間の体験事業や調査分析を通じて、デフレ下で定時・定量・定価を求める我々消費者にあつても、心と体と地域を支える食への思いは大変強いことを知りました。また「食財」を提供される農林水産業者さんや流通加工業者さんの、生産物に掛ける篤い思いのあることも忘れられません。

私が北大に進学した昭和40年代には、今日のような豊富な肉や野菜が食卓に上ることはありませんでした。組合員も少なく運営に窮していた当時の北大生協は、学生生活と社会を守るための互助会的な活動を広める段階にあり、生協食堂で提供されるご飯は我々北大生の貴重な「糧」でもありました。

時世は変われども大学の基本は変わらず、これを生活面から支える北大生協の役割もまた、不変です。

Peace Now! OKINAWA 2015 報告

～終戦から70年、今こそ平和について考える～

今回のPeaceNowOkinawaに参加して、普段のニュースや本などの資料では決して得られない「生の声と景色」から得られるものがたくさんあった。今回は沖縄戦と基地問題の2つを大きな構成としているセミナーであったが、私は特に基地問題について得るものが非常に多かった。

その大きなものとして「沖縄の基地問題についての関心度の低さと認識の甘さ」についてあげられる。今回は普天間基地周辺が一望できる嘉数高台に行ったのだが、そこでは、高層マンションの建設が行われていた。地元の人に話を聞いてみると、「最近の沖縄県民にとって基地問題というものがさほど大きな関心のもとにあるわけではなく、商業利益を優先して安全に考慮していない企業なども多々存在する」のだそうだ。さらに、普天間基地周辺の小学校を危険であるため子供の安全を最優先して移設しようという案が出た時も、「それは費用のかかることであり、また、基地反対運動のデメリットのシンボルである小学校を移設するわけにはいかない」ということで却下されたという。確かに、ここに基地があるのが悪いといってしまうと、ここで終わってしまう話かもしれない。しかし、高層マンションの建設や子供の危険を顧みない行動は、明らかに大きな事故を想定できていない「甘さ」からくる行為である。そのような「配慮」ができていないのにもかかわらずただただ基地反対といっているのは私から

すると、とても違和感のある行為のように思えた。また建設を許可している行政もまた現在の尾長知事を含む県議会の言い分と食い違っているように思えた。

さらにこのセミナーでは、様々な地域、学校のひととたくさん交流することができた。この中で得られた大きなものは、「沖縄県民だけでなく、全国の一人一人の考えは非常に異なっていて、これが国の総意・沖縄県の総意と呼べる考え方はない」ということである。このことは当たり前のように感じるだろうが、よく最近のニュースでは、政治家たちや知事などが「これが〇〇の総意である」と当然のように口にしていて、あたかもそのようなものが存在しているかのように話している。しかし、沖縄基地問題一つとっても賛成・反対だけではない非常に複雑な立場の意見というのがほとんどである。PeaceNowではそのような問題に関心のある人からそうでもない人まで様々な立場の人と交流することができた。何かの意見を一つにまとめるのではなくこのような交流の場を増やし、多様な意見をぶつけ合うことが何よりも大切であると再認識することができた。

PeaceNowOkinawaは私にとって非常に大切な経験となった。今後このような活動の場があるならば積極的に参加していきたい。

北海道大学文学部1年 西川 達



いじわるじいさん

2年ぶりに、瀬戸内地方の実家に行って驚いた。住人のいない家は、塀からセイタカアワダチソウが頭を出し、勝手口への通路は藁が走っていた▼高いすだれから通路へ下りていた藁を引きまわしり、家に入る。台所は死んだゴキブリがころがり、歩くと足裏が黒くなつた。2泊3日の滞在中に風を通し掃除をする。横壁と庭からむしり取った藁と雑草は20キロになった。放置したのはわずか2年である。人の手が及ばないところなるかと、草の大袋三個を前に思った▼全国的に空き家が問題になっている。昨年の総務省の調査では、総住宅数に占める空き家率は13.5%で過去最高。留守宅の理由は様ざま、その中には東日本大震災の被災で転居した世帯も含まれる。我が家は母親が高齢で施設に転居したためだが、両隣の家にも住人はいない。この一角、夜は暗い▼今年、空き家対策特別措置法が施行された。適切な管理、即ち人の手が入らなければ周囲の生活環境に深刻な影響がでるということでできた法律だ。責任を果たせたいと思い、気持ちよく実家を出た。が、振り返ってゾツとした。藁が家の裏側をびっしり覆っているのだった。(今日子)



キャンパス放浪記 in 函館…第3回

函館キャンパス周辺の食事情

～来函時に行きたい食事場～

北海道大学大学院環境科学院 篠原 陽

食とは人類の有する3大欲求の1つであり、こと日常生活を営む上で重要なファクターであろう。また食の形態は国、州、市町村、家族、個人といったスケールで異なる事から、その多様性は語るに及ばない。加えて本邦では和食がユネスコ無形文化遺産に登録された事が契機となり、食を趣味として捉える「グルメ嗜好」の認知が進んだ。これにより、食に対して探究心を持つ人口が飛躍的に増加した。本紙ではそのような食の中でも外食に焦点を当て、函館キャンパスの周辺の食事情(場)を紹介しようと思う。

周知の事実ではあるが、札幌キャンパス周辺には多くの食事場が存在する。筆者自身も、炒飯に肉が乗った料理、湿重量3kgに及ぶカレーライス、カツが激しい料理を提供する食事場等々、多くの食事場にお世話になった。そしてこれらの食事場のお陰で札幌での生活を健全に営め、延いては難関な単位取得条件の講義をパスして無事にキャンパス移行出来たと言えよう。ではキャンパス移行後、周辺の食事情はどのような変貌を遂げたのであろうか？

あくまで筆者の主観だが、函館キャンパス周辺の食事情は札幌キャンパスのそれに比べ、勝るとも劣らない。それはキャンパスから徒歩圏内に、学生向けの定食、ご当地ハンバーガー、寿司、ラーメン、スープカレー等々の料理を提供する食事場が多数存在するからだ。加えて「港街函館」では美味しい海鮮料理を提供する食事場も多数存在する。しかしながら多くの方は、美味しい海鮮料理をいただける食事場は敷居が高いとお考えではなからうか？そのような方に言わせていただく。函館ではそのようなイメージを棄却すべきだという事を。本紙では函館キャンパスから徒歩圏内で、かつ美味しい海鮮料理を気軽に食せる食事場を数例ご紹介しよう。

一軒目は函館キャンパスから徒歩約15分の場所に位置する「よし庵」である(写真1)。本食事場は小料理屋といった趣の

ある外観故に、一見敷居の高そうな印象を受ける。しかし一歩足を踏み入れた途端にその印象は忘却の彼方へ消え去るだろう。それは客同士の垣根が低く、気兼ねなく美味しい海鮮料理の数々とお酒を楽しむ事が出来るからだ。この団欒な雰囲気演出するのが、同食事場の名物とも言える大将であろう。これは本人が社交的なのは言うまでも無く、海産物に対する姿勢が真摯である事も関係している。特に函館名物の「イカ」に関しては、大将自身が講師として一般の学校で講義を行ったりと、その知識には底が見えない。さらにその様な状態にも慢心せず、我が北海道大学の公開講義や学位審査会などへ積極的に参加する事で、その知識を磨き続けている。このような大将の姿勢もあり、常連客の中には我が大学の教員も多い。美味しい海鮮料理とそれを引き立てる技術と知識がある魅力的な大将は、きっと今夜も客同士の垣根を低くしているだろう。

二軒目として、函館キャンパスから徒歩約5分の「ぬの川」を挙げさせていただく(写真2)。この食事場は居酒屋としての店舗形態をとっているが、ワンコインでいただける各種丼物が魅力的なランチ営業も行っている。本食事場はキャンパス近辺という事もあり、リーズナブルに海鮮料理やお酒を楽しむ事が出来る。しかし、だからと言って海鮮料理の質などに一切の妥協は無く、むしろ地元の新鮮な魚介類を積極的に使用している。さらに宴会を行う際などは海鮮料理に加え、他の美味しいオードブルも心行くまで堪能出来る。上記理由から、ぬの川は気軽に行ける食事場として長年水産学部生の食を支えてきたと言っても過言ではない。来函時に「今宵は美味しい海鮮料理とお酒を楽しみたい」と突発的に思った方、ぬの川の店主から伺えるであろう水産学部生の特徴の変遷などのコアな話を肴に、至福な一時を過ごしてはいかがだろうか？

三軒目は…と言いたいのだが字数制約のため、一旦ここで紹介を終えさせていただく。本紙で紹介した食事場はあくまで、

私の知っている事例である。またあえて文中では店舗の詳細な場所は記載しなかった。それは本紙を講読した方々で、インターネット等で調べていただきたいからだ。これにより、新たな食事場を発見する機会も有るだろう。食欲の秋…そんな秋の夜長には食を探求し、意外に魅力的な函館キャンパス周辺の食事情(場)触れてみる事をお勧めする。



写真1. よし庵の外観



写真2. ぬの川の外観

組合員加入キャンペーン 10/1(木)~11/30(月)まで

生協の店舗・サービスは、生協に加入してからご利用ください

加入申込

加入の方法

出資金は、5口5,000円をお願いしています。
下記受付店舗へ出資金をそえてお申込みください。

加入手続き受付店舗

生協会館1階、クラークサービスセンター、北部購買、工学部購買、中央購買、水産購買各店のサービスカウンター

プリペイドおよびポイント機能は、大学から発行される「職員証カード」に搭載されます。生協店舗ご利用の際は、職員証カードをご利用ください。



教職員で未加入の方は、上記店舗にご来店いただくか、理事会室(大学内線:3285)にご連絡いただけましたら加入用紙をお届け致します。
加入時の出資金は学生・院生は2万円、教職員の方は5千円をお願いしています。卒業・転勤・退職等で北大を離れる際には、生協の脱退手続き時に全額返還いたします。

**11月30日(月)までに加入申し込みの方は、
チャージ1,000円を特典としてプレゼント。**

特典

ご利用の際は組合員証または職員証の提示をお願いしております。

書籍

現金割引(セール)
書籍10%引き年末謝恩セール
文庫バンドル企画10%引+
ポイント還元など。

web和書注文

web注文承ります。学内配送
または店頭受取り。

購買

灯油定期配送
組合員価格で定期配送。

自動車学校入校

生協窓口のお支払いで、直接入校より約16,000円お得にご利用出来ます。

スーツ購入

提携店にて組合員価格で購入出来ます。

旅行

ホテル「東横INN」申込み
全国各地に展開中のホテルチェーン「東横INN」を組合員価格にてご利用いただけます。

食堂

コンパ申込みでサービス
各食堂のホールを使用する、30名以上のコンパにつき、幹事さん1名分サービス。

保険サービス

自動車保険申込

団体・集団扱い保険料で加入(北海道協同保険サービス)。

ポイント還元

書籍購入5%、食堂・購買での食品購入1%



土日祝 休み

平日 10時~18時
(夏休み期間17時閉店)

北大生協歯学部購買店(歯学部1F)

初めまして、北大生協歯学部です
初めまして。4月にオープン致しました、北大生協歯学部です。
北大生協のお店：というと、皆さんはどこを思い浮かべますか？
きっと、「北部店、中央店：あ、工学部もあったか」etc. 大きいお店を思い浮かべると思いますが、実は「皆さんの身近に必ず1店」あります。この歯学部店のオープンを以て、北大の全ての学部にも生協店舗が入りました!!
「あつて良かった、開いて良かった。」と身近に感じて貰えるお店になりたいと思っております。今まで遠くのお店を利用されていた歯学部の皆さん、近隣の皆さん是非お立ち寄りください。
北大生協歯学部購買店(歯学部1F)



日祝 休み

土曜 10時~14時
(イトインコーナー休み)

平日 10時~19時
(イトインコーナー11時30分~13時)

北大生協薬学部購買店(薬学部2F)

薬学部 リニューアルオープン!
今年4月、薬学部店がリニューアルオープンいたしました!
リニューアルしてからも多くの皆様にご利用いただいております。
また、新たにイトインコーナーが設置され、うどん・そば等の軽食の提供や、厨房で作った、作りたてのあったかいお弁当も用意しております!
近くに寄られた際には是非お立ち寄りください!

ハンライ 千キン竜田丼



一番人気の 千キン竜田丼です!

薬学/獣医店限定! 410円

学生の読書推進をピルトイン 「リーディングリスト運動」を 2015年度拡大教職員委員会開催

北大生協教職員委員会は、毎年8月に委員会メンバーだけではなく、総代や学生や院生委員、生協職員にも参加してもらい、その年の重要なテーマを設けて拡大教職員会議を開催してきました。今年は8月27日(木)に開催しました。

今年のメインテーマは、「リーディングリスト運動」としました。この運動は、全国大学生協連の教職員委員会が主体となって取り組みはじめたもので、大学生の読書離れに対する危機感から大学の個々の教職員が学生に読んで欲しい本のリストを積極的に提示しようというものです。テーマの性格からだけではなく、生協の教員理事や文系の総代の方々にも参加を呼びかけさせていただきました。

当日の進行と主な質疑は、次のとおりです。

リーディングリスト運動の経緯等について紹介と、大学生協連が毎年実施している学生生活実態調査から学生の読書時間の回答結果の報告、生協書籍部の読書マラソンの取り組み、院生委員会の取り組み・書評誌「ほんでないかい」の発行の取組みが報告されました。

特に、大学生協連が毎年実施している「学生生活実態調査」によると、1週間の読書時間が0分とい

う学生が全国平均で4割に上ります(表1参照)。大学人としてこの状況を傍観することはできないと考えることから、学生が読むべき書籍のリスト(リーディングリスト)を作成し、学生に提示する運動を全国の大学教職員に大学生協連教職員委員会として呼びかけることの重要な意義について意見が交わされました。

参加者の皆さんからは、リーディングリスト運動趣旨への賛同と共に、学生に対しては先輩学生が進めるリーディングリストが有効ではとご意見もいただきました。また職員総代の方からは、リストに挙げられた書籍のフェアなどを生協書籍部や大学図書館で行ってはどうかなどの提案や、読書に関しては大学図書館と生協が共同でイベントを実施することの可能性について検討すべきとのご意見のほか、多くのご意見をいただきました。

今回、多くの階層の方が一堂に集まって活発な意見交換をすることができ、有意義な委員会になったと思います。

このような拡大委員会が年1回ではもったいないという声もあり、半期に一度くらい開催できればと感じました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



表1. 1日の読書時間 北大及び全国比較 (%)

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	
北大	0分	37.4	29.4	37.5	34.3	27.5	33.6	29.2	37.1	39.4
	~20分	9.9	9.8	8.4	11.7	11.5	7.1	12.9	14.7	7.6
	~40分	28.2	30.4	24.1	24.4	24.0	20.4	31.0	27.0	18.7
	~60分	2.4	3.3	3.6	1.7	4.0	2.4	3.3	1.2	0.5
	~90分	15.3	17.3	15.2	16.5	11.0	13.3	13.9	15.3	21.7
	~120分	2.4	0.9	3.1	2.2	4.0	2.3	0.9	1.8	1.0
	120分以上	3.6	6.6	4.4	4.3	6.5	10.2	7.9	2.4	8.0
	無回答	0.7	2.3	3.6	4.8	11.5	10.9	0.9	0.6	3.0
全国	0分	34.7	34.8	34.5	34.2	33.8	36.7	34.5	40.5	40.9
	~20分	8.6	12.6	10.6	10.2	9.7	9.9	11.9	12.3	7.6
	~40分	27.3	27.0	25.7	23.5	21.3	21.3	25.9	24.1	22.9
	~60分	2.6	3.4	3.8	4.1	4.3	3.5	2.9	2.3	1.2
	~90分	17.3	12.9	14.9	13.9	12.8	12.2	15.0	12.7	15.9
	~120分	2.1	2.1	2.3	2.9	3.5	2.7	2.3	2.0	2.2
	120分以上	6.2	4.7	4.7	5.3	5.8	5.6	6.1	5.0	7.5
	無回答	1.1	2.3	3.7	6.3	8.8	8.0	1.3	1.1	1.9

書評誌

ほんでないかい2015 発行準備中!



院生委員では北大院生がオススメする本の書評を募集し、紹介する、院生による院生のための書籍紹介冊子『ほんでないかい』を今年も発行します。書評は現在絶賛募集中で、投稿締切は**10月31日**です。掲載された方には、北大生協書籍部で使用可能な書籍利用券**800円分**をプレゼント致します。書評の投稿は、北大生協の院生組織委員会のホームページに投稿申込みができます。みなさま、奮ってご応募ください。配布は、12月下旬ごろを予定しております。また北大生協の書籍部の紹介ページも掲載する予定です。どうぞお楽しみに。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



巨大なホールを埋め尽くした観客。ステージには、異様なメイクをほどこした異形のロック・ミュージシャンたち。「We Hate Love, We Love Hate」(愛を憎んでるんだ。憎しみを、愛してる)」、会場が一体となった大合唱。轟音のベース、ドラム、歪み切ったギターと絶叫するようなヴォーカルの、ヘヴィ・ロック……。

人が人に、愛情や関心を向ける、あるいはそれらを求めてゆくやり方には、様々なものがあるように思います。それは、率直で分かりやすいものばかりとは限りません。

子どもの愛情の求め方は、比較的シンプルだと思えますが、それでもなんだか屈折したようなものもありますよね。親の肩や頭やらに、やたら登って来たがったり、これから上げようとしているフツンのうえで大の字になってひっくり返ったり。さらには泣いたり喚いたりの大騒ぎ……もう「恐怖のかまっちゃん」状態です(ああ、メンドクサイ……)。学部学生の頃、心理学的支援の入門編の講義で、「子どもは、もっともかわいくない時に、もっとも助けを必要としている」と教わったことを思い出します。まあそれは、だいぶ深刻な話だったとは思いますが。

自殺予防というのは、日本では十年この方、社会的に大きな問題となつていますが、なかなか大変なことの多い営みだと思います。そのなかでも、「いのちの電話」はよく知られた活動でしょうけれど、それに携わる方々が、「死にたい」は「生きたい」と言うのだといえます。自殺しようとする人の約八割は何かのサインを出すと考えますが、「死にたい」と口にするのは、そのもつとも明確なものではない。その気持ちは、言葉通りに受け取らなくてはいけない。「死にたい」と言う人に限らず「死なない」というのは、誤解です。

こころの健康を考える 36

ラヴ・ソング

周囲の人がそのように考えて、自分自身を安心させたい、ということではないでしょうか。しかし半面、「死にたい」という気持ちの底には、できることなら死なずに生きてゆきたい、という切実な願いがある、それがあってこそ「死にたい」という言葉なのだ、ということだと思えます。まったくサインを出さずに亡くなってゆく二割の人たちの存在が、そのことを逆説的に示しているように、私には思えます。

ラヴ・ソングと言うと、普通、恋の歌という意味でしょう。しかし、より普遍的な、人が人を希求することとしてのラヴ・ソング、というものがあると思えます。そして、音楽は音楽の中だけの話ではないはずで。

This Is Not A Love Song という曲。「これはラヴ・ソングじゃない」くつきりとした

輪郭で刻まれるベースの音に乗って、ヒリヒリした声で歌われるこの曲は、たしかに歌詞も含めて普通の意味でのラヴ・ソングとは、おおよそ印象が異なる。しかし、作曲し、歌っているミュージシャンは、日本語タイトルは「ラヴ・ソング」でいいと言う……。

「We Love Hate」にも、「This is not a Love Song」にも「死にたい」は「生きたい」にも、そして親を困らせる子どもの大騒ぎにも、通底するものがありますまいか。そして、そのどれに対しても、なんて、なんて人間らしいんだらう、という思いを、私は抑えることができませぬ。

「心の健康を考える」冊子発行に寄せて

今年3月の退職まで長年にわたり北大生協教職員委員会に所属し、機関誌「きぼうの虹」の編集に関わりました。その中で、教育学研究院の渡邊誠先生に連載執筆いただいている『こころの健康を考える』は、今号で6回、5年を超える長寿シリーズのコラムです。

私は理学療法分野で専門職を目指す学生たちと接してきました。3月には思い出を胸に社会へと巣立つ卒業生たちを、4月には不安と期待を胸に門をくぐる新入生たちを30年以上見してきました。しかし近年、志をもって大学生活をスタートしても様々な要因からストレスを抱え、目標さえ見失う学生を目の当たりにすることも多くなっています。また、大学の教職員も多くのストレスにさらされ、不調を訴える方が多くなっていると聞いています。

今年初め、渡邊先生の連載をまとめ、冊子として多くの方にゆつくり読んでいただくという企画が持ち上がりました。冊子化にあたっては、渡邊先生に編集や改稿と大変なご苦労をおかけしました。また、優しい挿絵を考えると、以前いただいた絵手紙などに描かれた飯田さんの花の絵が思い浮かび、お願いしたところ快諾していただきました。

示唆深く柔らかな渡邊先生の文章と飯田さんの花たちの優しいぬくもりが、皆さんの心に届きましたでしょうか。

末筆ながら、渡邊先生、飯田さん、企画段階からご協力くださった多くの方々に心より感謝申し上げます。



日本医療大学 保健医療学部

リハビリテーション学科理学療法専攻 高橋 光彦

第4回

植物園に行こう

大学博物館の展示室は”気づきの場”

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園 加藤 克



写真1 北方民族資料室の様子。

「植物園に行こう」、第4回目は北方民族資料室について紹介します。

植物園のゲートがある建物の2階に、アイヌ民族の文化資料を中心とした展示室があります(写真1)。展示されている資料は、開拓使の博物館時代の明治10年代に収集されたものと、昭和初期にアイヌ文化研究を積極的にすすめた名取武光・犬飼哲夫が研究目的で収集したものが中心となっています。明治時代に収集された資料群は、伝統的な技術を色濃く保持した、美術工芸品としても位置付けられる優品が多く含まれています。また、この博物館はお雇い外国人の影響によって設置されたこともあり、いつ、どこで収集されたのか、という基本的情報が、古い時代の資料であるにもかかわらず保持されています。このため、民具の複製や技術の復元、他の博物館での企画展示への貸

出しなどアイヌ文化の振興にも貢献する、重要な資料になっています。

魅力的な展示室には国内外問わず多くの方が来館されています。しかし、来館者からは、いくつかの不満、要望があることも事実です。たとえば、「明治期のアイヌ文化は理解できるが、現在のアイヌ民族に関する解説がない」という指摘や、「展示替えが行われていない」といった要望です。今回は、これらの要望に応えられていない要因について解説する形で、展示室や植物園・博物館所蔵資料の特徴について紹介したいと思います。



写真2 研究用の鳥類標本のケース。

ように管理することです。そのため、大学の研究活動の偏りによって所蔵資料にも偏りが生じます。資料を収集する研究が行われなければ、博物館には資料が集まっていけません。北海道大学においてアイヌ民族に関する研究は継続的に行われてきていますが、現在のアイヌ民族に関する資料を収集する研究者から博物館に資料が移管されない限り、大学博物館ではそれを展示して、情報を発信することができません。

同じものが地域や家系によってどのように異なるかを明らかにするために、同じ資料を多数収集することになります(写真3)。企画展ならばともかく、常設展示でこれらの資料を展示するわけにはいきません。結局、展示資料を収集していた開拓使時代の限られた収集資料が展示の中心になってしまうのです。



写真3 研究用に収集された民族資料。同じ種類で、少しずつ異なる資料が、多数保管されている。

また、大学博物館に収蔵される資料は「研究資源」であり、展示用の資料ではありません。「研究資源」とはどのようなものでしょうか?動物関係の標本であれば、研究用に多数収集された動物を棒のようになった研究用の仮剥製にして、効率的に保存管理できるようにしています(写真2)。民族資料の場合は標本を作るわけはありませんが、

来館される皆さんにとっては、不満かもしれません。しかし、大学は答えを学ぶ場ではなく、研究する場です。大学博物館の展示室は疑問を見つけ、図書館で調べてみよう、研究室に行ってみよう、博物館の裏側で研究してみよう、というきっかけを作る場、「気づきの場」でありたいと考えています。

与えられるのではなく、「何か」に気づくために、大学博物館、大学植物園に行ってみるのも一つの楽しみ方ではないでしょうか。

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■オーブンキャンパス活動

8月1日～4日に行われたオーブンキャンパスを訪れた受験生への活動を行いました。受験生の不安や疑問に現役北大生が答える「北大生と話そう」や広い北大構内を案内する「道案内」など例年好評の企画だけでなく、トークショー「北大生の日」、北大生が話しまショー」、展示「まるごと北大生展」など今年ならではの取り組みもありました。のべ約550名の参加があり、多くの受験生に北大の魅力を伝えることができました。受験生応援冊子「NITOVE」やOC特設HPも作成しています。

後期になると、受験生歓迎や新入生歓迎など新たに北大に入学してくる人々を対象とした活動が増えてきます。これらの活動を行うときには北大に関わる人みんなが受験生・新入生をサポートしていきたいと考えていますので、ぜひよろしくお願いします。



院生委員会

■今年もやっちゃおうよ!

「2015ほんでないかい」発行準備

委員会では毎年恒例となつている書評誌「2015ほんでないかい」を12月の発行にむけ、企画準備中です。書評の投稿を院生に呼び掛けています。投稿者には、800円の書籍利用券を差し上げます(ただし、生協組合員の方に、詳しくは投稿ポスターをご確認ください)。奮って書評の投稿をお願いします。奮って書評の投稿をお願いいたします。今年の「ほんでないかい2015」冊子の構成は、院生からの書評(投稿の呼びかけ)と、特別企画・北大OBの方にインタビューを申し込んでいきます。正式に決まったら、何らかの方法でお知らせします。それと書籍部紹介ページの3部構成で企画中です。乞うご期待ください。

留学生委員会

■「ハラル・バーベキュー」委員会テスト開催!

バスツアーでも要望を出されたり、委員会のイスラム教徒のメンバーから切望されていきました。全体的な企画にするには色々難しい事があるので、バスツアー翌週の土曜日に委員会メンバーで開催しました。数年前迄は人気のイベントでしたが、参加者減から中止になっていました。

肉やタレなど食材の全てをハラルで整え、みんなが同じ鍋や網で焼いた食材を食べられる環境で、食材を譲り合ったり、各国の食に関する話題など話が尽きることなく満面の笑みで盛り上がりました。ハラルではないジンパやBBQと異なり、手間と準備の大変さを体感しながら来年への希望につながりました。



■「新入留学生歓迎企画予定」

- ① 無料譲渡の日用雑貨品回収
- 9月17日(木)～10月6日(火)
- ② 国際本部「新入留学生オリエンテーション」参加 10月2日(金)
- ③ ウェルカムパーティーチケット
- 販売開始: 10月2日(金) 15時半
- ④ 新入留学生ウェルカムパーティー
- 開催日: 10月9日(金) 中央食堂

教職員委員会

■毎月開催している総代会議と教職員委員会は、8月はお休みです。かわりに拡大教職員委員会が開催されました。今年には全国教職員委員会が取り組んでいる「リーディングリスト運動」をメインテーマに話し合いました。参加された方からは、様々な立場から多くのご意見をいただき、活発な会となりました。(詳しくは本誌5ページをお読み下さい)

■本誌「きぼうの虹」に連載いただいている渡邊誠先生の『このころの健康を考える』の冊子がついに完成しました。
ご希望の方には無料で差し上げますので、左記、北大生協理事会室までご連絡ください。

■「きぼうの虹」は教職員委員会編集し、偶数月に発行しています。皆様からのご意見ご要望をお待ちしておりますので、左記までご連絡ください。

【編集後記】先日、高校生向けセミナー講師として函館に出張しました。夕食は五稜郭近くの繁盛している焼肉店に一見入り、キャベツだけで待つこと一時間。今号の函館キャンパス案内に、魅力たっぷりの食堂が載っていたようにと！ああ、この店に行きたかったな。(後の祭り)

■各種連絡先・北大生協理事会室
(学内内線: 3285)
seikyout@coop.hokudai.ac.jp